

NEWS RELEASE

アクセーナ株式会社

報道関係各位

2018年2月22日

いまこそ、スキンケアの転換期!?

毎月肌不調を感じている人は、なんと8割も！ さらに、「肌不調の頻度が増えた」と、2人に1人が回答 にもかかわらず、半数以上がスキンケアで迷走中！ 美容家も実践する「肌のオフトレ」に注目！

アクセーナ株式会社（代表取締役：阪本 宙政、本社：大阪市）は、20～30代の女性500名に対し「肌の不調」に関する調査を行いました。

【調査概要】

調査名 : 「肌の不調」に関する意識・実態調査
調査期間 : 2018年2月9日（金）～2月13日（火）
調査対象 : 20～30代女性 500名
調査方法 : インターネット調査

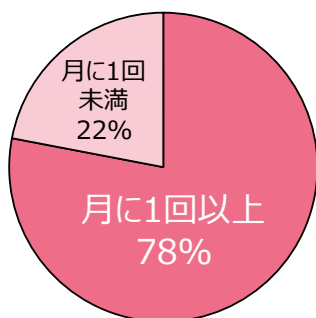
※小数点以下を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります

■ 毎月肌不調を感じている人は、なんと8割も！ 肌状態は、「かさつき」「ニキビ＆吹き出物」が2トップ！

女性たちの肌不調の実態を探るべく、「肌の不調を感じる頻度」を聞いてみたところ、月に1回以上肌の不調を感じている人は、約8割（78%）にのぼりました。【グラフ1】

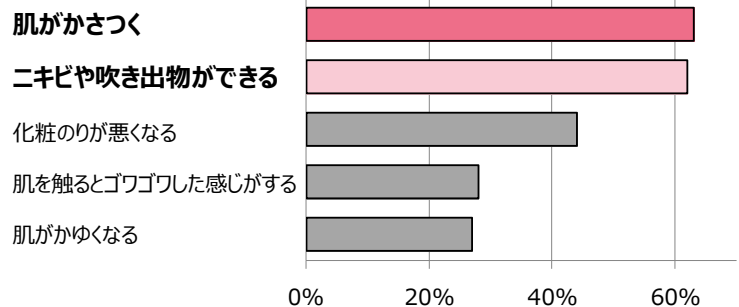
また、「肌の不調を感じる時、どのような状態になるか」という質問に対して、「肌がかさつく」（63%）、「ニキビや吹き出物ができる」（62%）といった状態がほぼ横並びで1、2位。次いで「化粧のりが悪くなる」（44%）という結果となりました。【グラフ2】

肌の不調を感じる頻度はどの程度ですか？



グラフ 1

肌の不調を感じる時、どのような状態になりますか？



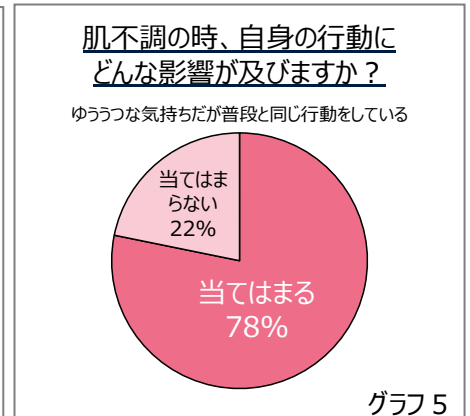
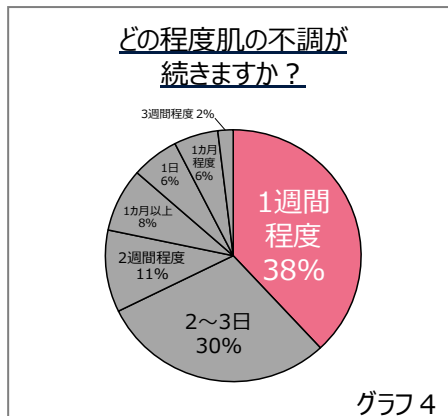
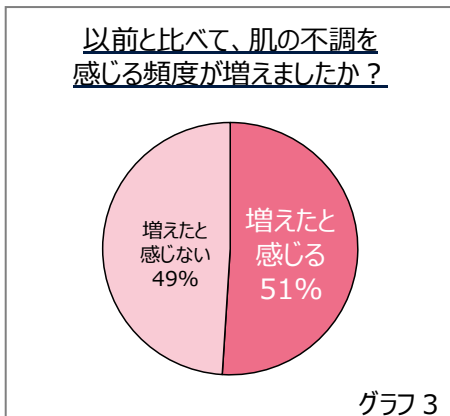
※上位5つのみ記載

グラフ 2

■「以前と比べて、肌不調の頻度が増えた」2人に1人が実感！
不調が続く期間は「1週間」が最多！
「ゆううつな気持ちだが、普段と同じ行動をしている」8割が当てはまると回答！

肌不調の頻度に関しては、2人に1人が「以前と比べて、肌の不調を感じる頻度が増えた」（51%）と回答。[グラフ3]
「どの程度肌の不調が続くか」については、「1週間程度続く」（38%）が、もっとも多い結果となりました。[グラフ4]

「肌不調の時、自身の行動にどんな影響が及ぶか」を聞いたところ、「ゆううつな気持ちだが普段と同じ行動をしている」という項目に当てはまる人が約8割（78%）に及びました。[グラフ5]



■自分のケアは本当に正しい!? 約6割がスキンケアで迷走中！
肌不調の時のスキンケアは、個々でまちまち。ステイ派もアクティブ派も！

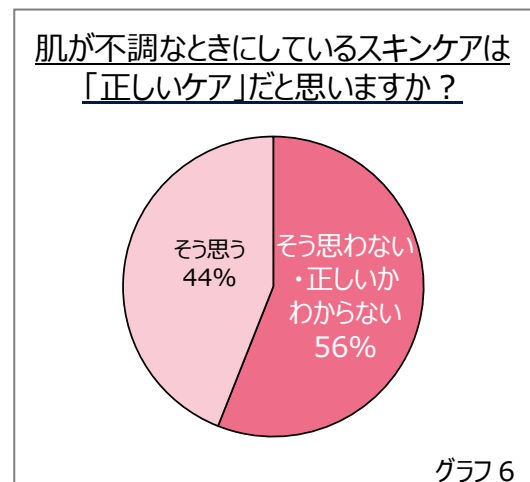
肌が不調なとき、女性たちはどのようなケアをしているのでしょうか。「肌が不調なときに実際にしているスキンケア」を聞いてみると、「普段と全く変えない」（40%）、「普段より使用する量を多くする」（39%）、3位に「普段より積極的なケアができるアイテムに変える」（14%）と続きました。[表1]

一方、自分が行っていることが「正しいケア」だと思うかを聞くと、「そう思わない」と答えた人が27%、「正しいかわからない」と答えた人が28%。合わせると半数以上（56%）が「スキンケア迷走中」と言えそうです。[グラフ6]

肌の不調を感じる時、どのようなスキンケアをしていますか？

普段と全く変えない	40%
普段より使用する量を多くする	39%
普段より積極的なケアができるアイテムに変える	14%
使用するアイテムの数を増やす	12%
敏感肌用のアイテムに変える	11%
全く何も使わない	8%
使用するアイテムの数を減らす	7%
普段より使用する量を少なくする	6%
その他	4%

表 1



肌が不調になった時、特にケアを変えない人もいれば、使用量を増やしたり積極的なケアに変えたりとお手入れを頑張る人も。「肌不調時の正しいケア」の共通認識はなく、個々で考え方やお手入れ方法が異なる様子が見られました。そんな肌不調に悩む女性たちに、おすすめのスキンケア法「肌のオフトレ」を提案します。

■ 美容家・岡本静香さんおすすめ！ 肌が不調な時のスキンケア法「肌のオフトレ」美容とは？

調査結果を踏まえ、美容家・岡本静香さんにお話を伺いました。

◆ 専門家プロフィール



岡本静香（おかもとしずか）

美容家。さまざまなコスメやスキンケア事情に精通し、実体験に基づいたアドバイスが人気を集めている。「MAQUIA」「美的」「VOCE」「MORE」など数々の雑誌やTVに出演の他、自身で発信するコラムやSNSは、心と美容をつなげる希望ある文章が話題を呼んでいる。美容家の枠を超え、現代の女性たちの力強い味方。それぞれの生活スタイルに沿った美容法のコンサルティング「静香塾」、会員制オンライン美容メディア「biishiki」を通して、多くの女性の本質的な美を引き出している。新著「自分の肌を好きになったら運命は変わる」（SBクリエイティブ）が2018/2/22発売。

<女性の肌をとりまく環境について>

今回の調査結果からも、「肌の不調が増えた」と考えている女性は多いようです。肌をとりまく環境は年々過酷化しており、紫外線も強くなっていると言われています。また、食事についても、現代では肌の負担になるようなものが増えています。手軽さを優先して食べてしまうファストフードや、作ってから時間が経っているお惣菜などは、発酵食品などが多い伝統的な日本食に比べ、肌の健康にも良くないのです。

さらに「ストレス」による肌影響も深刻化しています。しかし、ストレス自体は個人では気づきにくく、放っておいてしまう方も多いもの。仕事や育児を優先して、睡眠不足を感じている方も多くいらっしゃるでしょう。

<こんなケアはNG!?!>

■ 「口コミで好評」、「高価な化粧品」であれば、自分の肌に合わないのに使ってしまう

年齢を理由に、高価な化粧品を使ってみる方は多いと思います。肌に合えば良いのですが、高価だから効くと思い、ピンと来なくても使い続ける…。ご自身が実際に感じている「合わないな」という感覚や、不調よりも口コミを信じて使い続けてしまうのは、おすすめできません。

■ 保湿や洗顔が不十分

ケアを諦めてしまうのも、さらなる肌の不調を招いています。自分にはきびがしやすい、乾燥しやすい、と決めつけ「どうせケアをしても意味がない」と考えて、ぱったり省いたり、やめてしまったりする。たとえば、洗顔料は全く使わない、化粧水も乳液もしないなど。そうすると、古い角質がたまったり、水分不足を招いたりすることで肌にさまざまな不調が出てきてしまいます。

■ 病院やエステを頼りに毎日のケアをさぼってしまう

さらに、自宅でのケアをおろそかにして、不調が出てからお医者さんの薬やエステの施術だけに頼ってしまう方も。普段のケアでは不調が治らないと思いついでしまい、毎日のケアを雑にしてしまっはけません。

<岡本静香さんも実践！肌が不調なときにおすすめのケア>

■ 刺激を与えない&しっかり保湿をして、肌をうるおいで満たすこと

■ 肌がゆらいだときのための「自分の肌に合う心地よいアイテム」を持つておくこと

肌が不調な時、基本のステップである「保湿」を丁寧にすることが美肌には必須です。私も実践しているのですが、肌がゆら

いだときにも使えるような、心地よいアイテムを持っておくと、とても安心できます。**「心地よいアイテム」の条件は、刺激を感じない・しっかりうるおう・肌の調子を戻して上向きにしてくれる**こと。もちろん自分で試して確かめることが大事ですが、敏感肌のアイテムは、この条件を満たすことを目標としていることが多いです。日常使いにしても良いし、調子に合わせて併用してもOK。口コミなどの情報だけで決めつけずに、アイテムの特性をきちんと理解し、自分が安心できるものを選んでケアしてほしいと思います。

また、肌が不調なときは、自分が無理をしているサイン。化粧品はもちろん、食事、生活や、考え方も見直してほしいです。調子が悪ければ無理をせず、刺激やストレスを避けて、まずは基本ケアで調子を整えましょう。一生付き合っていく肌ですので、諦めずに底力をあげていけるといいですね。

■「肌のオフトレ」には、刺激を与えず&しっかり保湿できるスキンケアを

肌の調子が悪いときのケアには「刺激を与えずしっかり保湿して、肌にうるおいを与える」ことが大事。アクセーヌでは、皮膚生理学に基づき「肌ののせるものを厳選することで肌への刺激を“オフ”し、十分な保湿をすること」が、結果的に肌の底力があがるトレーニングになると考える「肌のオフトレ」美容をおすすめしています。

◆参考情報

アクセーヌ AD コントロール ローション



厳選された6つの成分のみを配合しているため、肌状態が不安定なときも快適に使える低刺激性の化粧水。高い保湿効果でありながらべたつかず、刺激が侵入しにくいもっちり肌へと整えます。

■低刺激性・無香料・無着色・界面活性剤フリー・パラベン（防腐剤）フリー・アルコール（エタノール）フリー
（すべての方に、肌トラブルが起こらないというわけではありません。）

サイズ : 120ml

価格 : 3,780円（税込）

<http://www.acseine.co.jp/shop/g/g4900421048000/>

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料をご希望の方は下記までご連絡ください■

トレンドーズ株式会社 担当：松浦（まつうら）

TEL : 03-5774-8896 / FAX : 03-5774-8872 / mail : press@trenders.co.jp